

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2023年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区東九条南石田町5番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 京 阪 バ ス 株 式 会 社 取締役社長 三 浦 達 也
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	京阪グループ環境マネジメントシステム（独自のシステム）
適 用 範 囲	京阪グループ全社
導 入 年 月 日	2021年 4月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	京阪グループは、「地球環境の保全は人類共通の重要課題の一つである」との認識のもと、環境の保全や資源の保護に配慮し、自然環境にやさしい企業運営を目指すことで、持続的に発展できる社会の実現に貢献します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2022年度共通目標 バスの燃費 対前年0.1%向上 社用車の燃費 対前年1.0%向上 電力使用量 対前年3.0%削減 水道使用量 対前年1.0%削減
目標を達成するための取組の内容	エコドライブ強化月間の設定、アイドリングストップ車両への代替、電気バスや低燃費車両への代替、エコオフィス活動 京阪グループ監査
目標を達成するための取組の進捗状況	アイドリングストップ車・・・2022年度1両導入（導入率 82.0%） 低燃費車・・・2022年度1両導入（導入率 100%）
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	重点目標であるバスの燃費は悪化したが、電気バスの運行により温室効果ガスの削減がはかれた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	「法規制類遵守状況報告書」により各事業所でチェックをおこなっている。 京阪グループ環境監査や事務局が随時事業所へ出向くことにより実施状況を確認している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回、社長による見直しを行う。 年度の状況にもよるが、現行の取組みにより一定の効果が確認できるので、引き続き取組む。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。